

B Lab、一次産業×テクノロジーで社会課題を解決する 「B Lab 広島」を設置！

B Lab (iUの研究所、所長 石戸奈々子。以下、B Lab) は、自然と歴史溢れる広島県廿日市市に B Lab の拠点「B Lab 広島」を設置します。



日本三景の一つでもある宮島は廿日市市に位置しており、目の前には穏やかな瀬戸内海が広がっています。瀬戸内海特有の自然景観が豊かに存在し、牡蠣やあさり、ムールなどといった海の幸も豊富に採れます。

B Lab 広島では、水産業をより効率的に無駄なく運営できるようにするために、IoT を取り入れたデータドリブンによる経営モデルの構築を目指します。また、これら 2 枚貝の生産性を上げるために従来の養殖方法から脱却し、IoT センサー等の活用による新しいやり方での養殖の確立に取り組みます。

また、B Lab 広島では「超漁業」プロジェクトと連携し、漁業や農業などの一次産業従事者へ向けた STEAM 教育を展開します。横断的にテクノロジーの基礎を実践を通して学ぶことで、一次産業従事者が自らの産業に応用できるシステムを発想できるようになることを目標とします。横断的にテクノロジーの基礎を学ぶことで、エンジニアとのギャップを埋め、創出されたアイデアを共に社会実装することを目指します。

■ B Lab 広島 のオーガナイザー 川崎まりあ氏よりメッセージ

B Lab 広島のオーガナイザーに慶應義塾大学院メディアデザイン研究科 川崎まりあ氏が就任。以下、川崎よりメッセージ。

B Lab 広島に就任しました川崎まりあと申します。これまで、広島を拠点に映像や地域イベントによる中山間地域の活性化や地域創生をテーマとして活動を行ってきました。

近年の国内における水産業の衰退を感じ、より水産業に取り組みやすくしたいという想いで、現在様々なプロジェクトを進めています。B Lab とのコラボレーションを通じて、広島の魅力を発信していきながら、地域内外でのつながりによってさらにポジティブな影響を巻き起こせるようになっていけたらと願っています。どうぞよろしく願いいたします。

■ B Lab の概要

Beyond, Borderless, Breakthrough の頭文字をとった「B Lab」は、研究所と銘打ちながら、世界中の大学・研究所、地域、人材をつなぎ、多くの人の得意技や知見を融合させ、新しい技術、サービス、コンテンツ、ビジネス、社会を生み出す参加型プラットフォームです。テクノロジー開発、社会課題解決、新サービス創出などスコープは広いですが、共通項は社会実装で、みんなで作るということ。お父さんもお母さんもおばちゃんも子どももみんな研究員。Lifelong Seeker になり、第2の研究員名刺を持ちます。ソーシャルで、オープンで、参加型で、ユーザーふくめ全ての人がつながり新しい社会を構築し、課題、アイデア、技術、おカネ、スキル、人をマッチングさせ、小さな創造から大きな創造までおもしろい未来をみんなで作ることを目指します。

<関連 LINK> <https://www.blaboratory.org/>

VISION

AI/IoT等の技術が代表するSociety5.0の入り口に立ち、新しいものを生み出す機関がほしい。そんな矢先に人類を襲ったコロナにより、withコロナ/afterコロナの新しい世界をつくるのが命題となっています。

これまでは、国、大学もしくは企業の研究所が個別に対応してきました。しかし、高度なアカデミズムに立脚した専門性の高い研究機関とは別のアプローチが必要なのではないでしょうか。

ユーザーを含め全てがつながり新しい社会を構築するようならば、ソーシャルで、オープンで、参加型で、様々な知見や多くの人の得意技を融合させて、新しい技術、サービス、コンテンツ、ビジネス、社会を生んでいくプラットフォーム・増殖炉をつくりたい。

テクノロジー開発、社会課題解決、新サービス創出などスコープは広いですが、共通項はデジタルテクノロジーで、社会実装で、みんなで作るということ。

ソーシャルで、オープンで、参加型な新しい研究所、B Labを開始します。



CONCEPT



おもしろい未来の創造
論文を書くだけでなくおもしろい未来をつくり、社会実装をすることを重視します。課題、アイデア、技術、おカネ、スキル、人とのマッチングの場でもあります。日常生活での工夫・発明や今までにない新たなビジネスの創出など、小さな創造から大きな創造まで、おもしろい未来をみんなで共創します。

世界中の大学・研究所のコミュニティ
世界100の研究所と連携し、組織の枠を超えたコミュニティを創出します。

世界各地がフィールド
バーチャル・リアル問わず世界各地にラボを設置します。

だれでも研究員
100万人研究員計画。おばちゃんも子どももみんな研究員。Lifelong Seekerになり、第2の研究員名刺を持ちます。

FOCUS

ITやAIなどの「技術」、ポップカルチャーなどの「文化」、そして「Dと」


3つの軸がイノベーションを起こし、3つの軸をインキュベートし、さらなるイノベーションを誘発する。

イノベーション×インキュベーション×D
技術、文化、Dと。
みんなで作る。そでる。

B Labはそのための場、コミュニティ、ネットワークです。



PROJECTS AT HAND



B Lab 所長：石戸奈々子
(慶應義塾大学教授、CANVAS代表、超教育協会理事長)

東京大学工学部卒業後、マサチューセッツ工科大学メディアラボ客員研究員を経て、NPO法人CANVAS、株式会社デジタルえほん、一般社団法人超教育協会等を設立、代表に就任。慶應義塾大学教授。総務省情報通信審議会など省庁の委員を多数歴任。NHK中央放送番組審議会委員、デジタルサイネージコンソーシアム理事等を兼任。政策・メディア博士。

B Lab WEB SITE:
<https://blaboratory.org/>

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

■学長



中村伊知哉（なかむらいちや）

<職歴>

- 1984年、ロックバンド少年ナイフのディレクターを経て旧郵政省入省
- 1998年、MITメディアラボ客員教授
- 2002年、スタンフォード日本センター研究所長
- 2006年、慶應義塾大学大学院教授
- 2020年4月より、iU学長に就任

■設置概要

- ・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13
- ・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎
右：サテライトオフィス

- ・学生数：639名 ・専任教員数：28名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■基本構想

ICT×ビジネス×グローバルコミュニケーション + 全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

- ・ICT教育：電子学園が積み上げた基盤により、プログラミング・AI・ビッグデータなど、幅広いICTスキル教育を展開
- ・ビジネス創造教育：実務家教員によるビジネススキル教育を実施、ビジネス教養、ビジネスプラン策定力などを身につける
- ・使える英語・グローバル教育：国際舞台で仕事をするために必要な英語力を磨く教育と留学生の受け入れにより国際性も強化
- ・インターンシップとリアルプロジェクト：1人640時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施
- ・全員起業：希望者全員に対し、在学中に起業にチャレンジできるサポート体制
- ・オンラインを活用した授業サポート：『いつでもどこからでも学ぶことができる』をキーワードに、自ら積極的に学ぶための環境の充実

■育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL：03-5655-1555 E-mail：info@i-u.ac.jp